

平成26年度 業務実績報告及び決算の概要について

平成27年7月21日

堺市立病院機構の概要



(地独法)堺市立病院機構の概要 ①

法人の名称及び事務所の所在地

法人名 地方独立行政法人 堺市立病院機構（平成24年4月1日設立）
所在地 堺市西区家原寺町1丁1番1号（平成27年7月1日より）

法人の役員

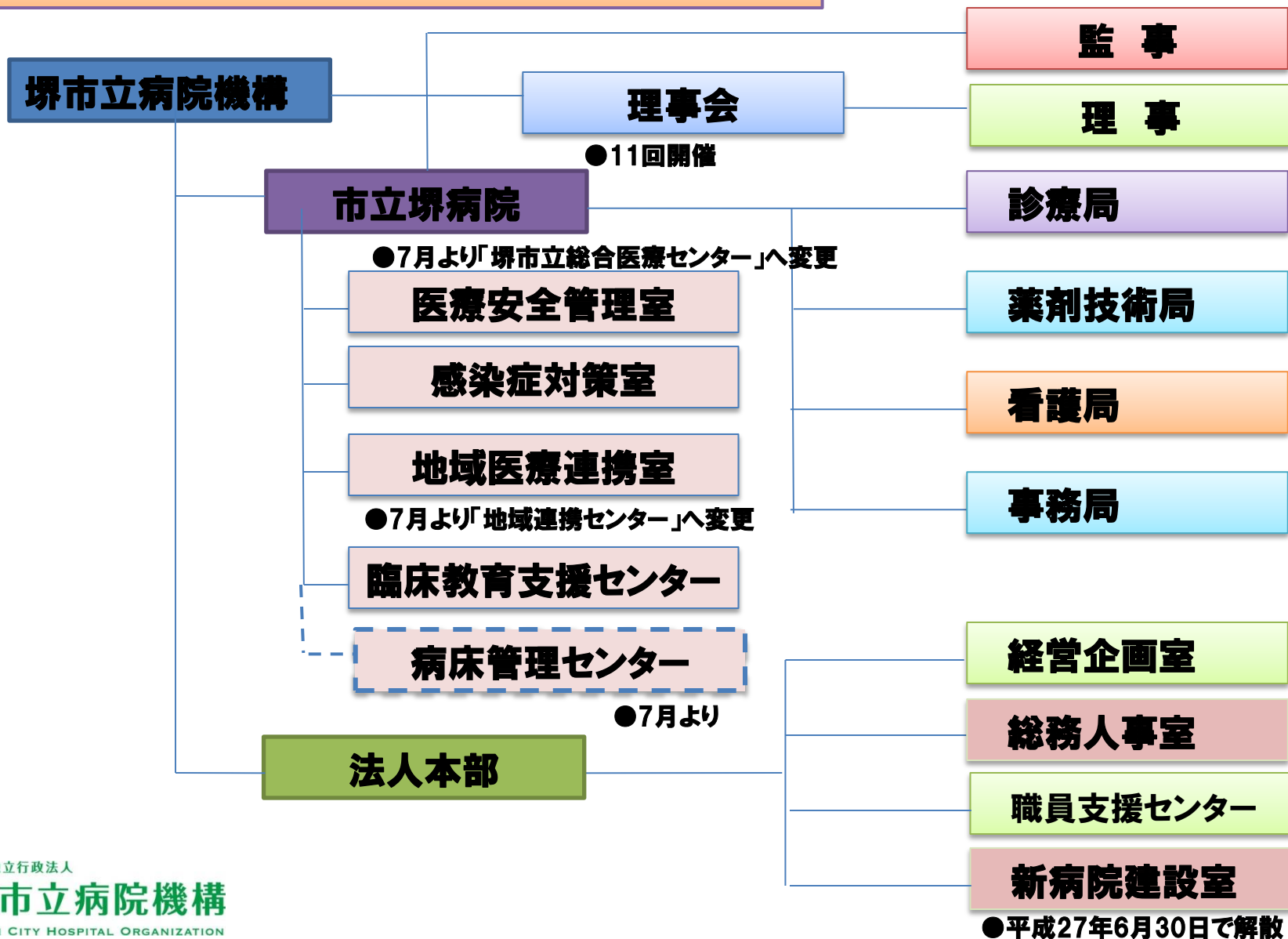
平成27年4月1日現在

役職	定数	氏 名	任用区分	職 種	任命者
理事長	1名	北村 惣一郎	常勤	（医師）	市長
副理事長	1名	金万 和志	常勤	院長	理事長
理事	5名以内	横田 順一郎	常勤	副院長	
		寺口 俊一	常勤	法人本部長	
		千葉 鐘子	常勤	職員支援センター長	
		堀畑 好秀	非常勤	経営有識者	
		高杉 豊	非常勤	医療有識者	
監事	2名	中島 馨	非常勤	弁護士	市長
		伊藤 一博	非常勤	公認会計士	

(地独法)堺市立病院機構の概要 ②

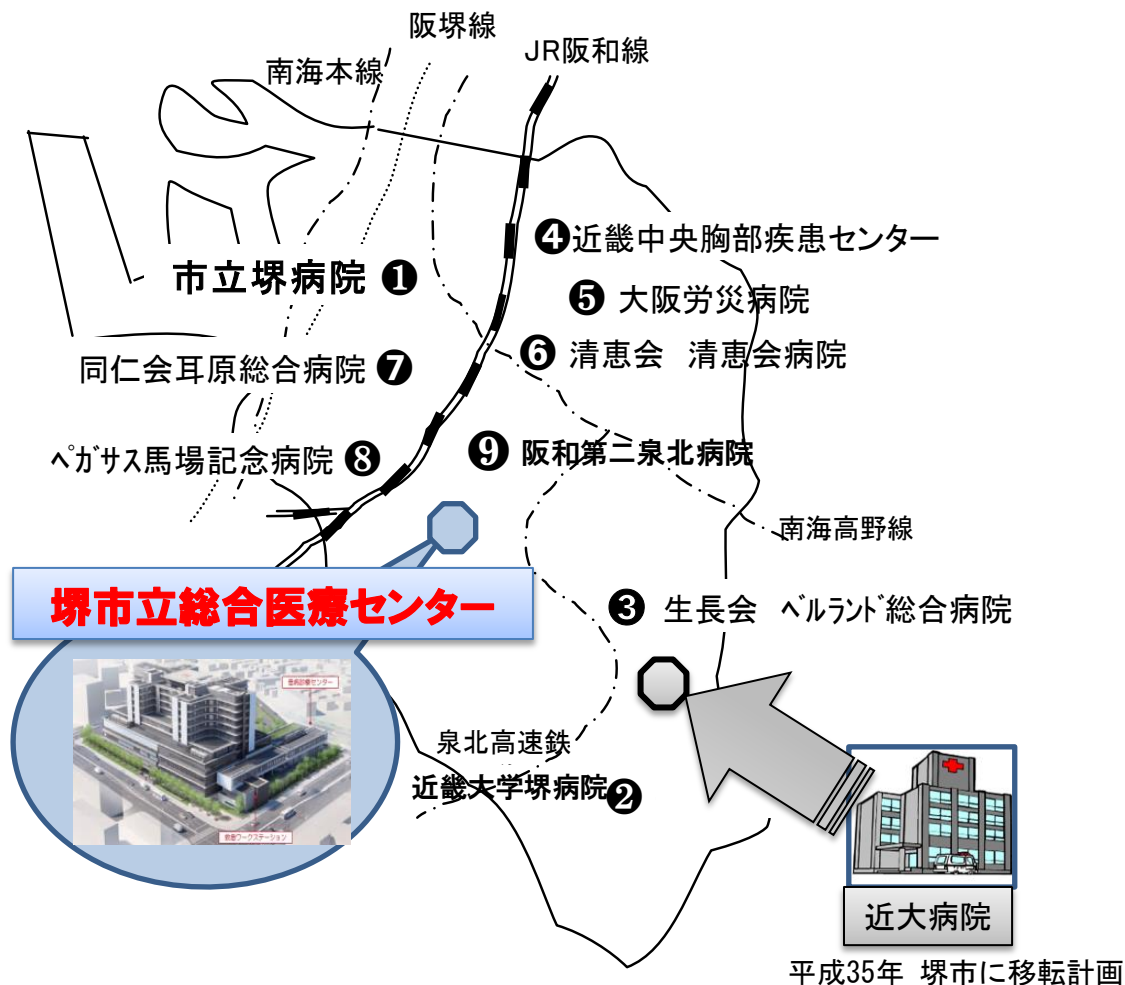
平成27年4月1日現在

法人の組織



(地独法)堺市立病院機構の概要 ③

堺市2次医療圏の現状



病院名 (堺市45病院のうち200床以上の医療機関)	病床数
①市立堺病院	487床
②近畿大学医学部堺病院	440床
③ベルランド総合病院	477床
④近畿中央胸部疾患センター	385床
⑤大阪労災病院	678床
⑥清恵会病院	276床
⑦耳原総合病院	386床
⑧馬場記念病院	303床
⑨阪和第二泉北病院	235床

(地独法)堺市立病院機構の概要 ④

職員数(正規職員)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
医師	77	68	81	86	90	91	98	98	100
看護師	354	359	378	394	416	436	460	509	518
医療技術	67	72	72	72	72	100	120	135	137
事務等	34	41	42	42	41	42	57	63	68
合計	532	540	573	594	619	669	735	805	823

法人の基本的理念・目標等

■市立堺病院の理念を継承

- ・地域医療機関との連携及び役割分担のもと、救急医療等の政策医療を含め、地域に必要な質の高い医療を安全に、安定的・継続的かつ効率的に提供するという公的使命を果たす。
- ・市民及び患者サービスの充実に努める。

■経営健全化の推進

- ・将来にわたり安定して医療が提供できるよう、効率的な経営による経営健全化に取り組み、経営基盤の安定化を図る。

自律的かつ健全な病院経営をめざして

法人・病院

すべての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します。
(運営の土台)

理念

法人

高度で良質な
医療の提供

地域社会への貢献

健全な経営基盤づくり
公共性、透明性、自主性、自律性
を高める 経営形態の推進

優れた人材の育成

臨床研究の推進

運営方針

病院

- 一、思いやりとふれあいの心がかよう
人間尊重の医療サービスを提供します。
- 一、安心と満足を与え、信頼が得られる医療
サービスを提供します。
- 一、医療機関との連携を基本として、きめ細
かい医療サービスを提供します。
- 一、常に医療水準の向上に努め、専門的か
つ高度な医療サービスを提供します。
- 一、地域の中核病院としての役割を認識し、
効果的で効率的な医療サービスを提供
します。

病院憲章

全職員が一丸となって、堺市立病院機構の運営を推進

地方独立行政法人移行による変化

委託業者を含めた全てのスタッフの意識の変化

【意識改革スローガン】

24年度 「まず自分から変わろう **笑顔であいさつ**」 「心がけよう、**柔軟、すみやかな対応**」

25年度 「“ありがとう” **感謝**で始まる**チーム医療**」 「まず実践、**口動から行動へ**」

26年度 第2期中期計画の行動規範を《**し・ん・ら・い・Ki・Zu・Ku**》と定め基本方針を示した

【経営幹部の意識の変化】 自律した経営を行っていく経営幹部の**自覚**

まずは行動し、うまくいかなければ仕切り直す → 経営者として責任ある迅速な判断・対応

- ・ 職員間のコミュニケーションを大切にする
- ・ 職員に責任感を持たせる

【部門長や職員の意識の変化】

- ・ 目標・計画・実行のPDCAサイクルの導入
- ・ 指標を測定し、改善 → 各部門長の目標達成意識の向上
 - ▶ **達成すべき目標の明確化**
- ・ 中・長期ビジョンを明確にした上で、管理職に対し各局の具体的な運営方針の説明
 - ▶ **サービス志向の文化を創る**
- ・ ボトムアップ提案(業務改善、予算施策提案等)→ 職員の**経営参画意識**の醸成
 - ▶ **成功を認め、讃える**

地方独立行政法人の**自立性・機動性・透明性**を活用した運営

質の高い医療の提供・安定した経営

堺病院の理念

安心・安全で心の通う医療の提供

中期計画期間の経営理念

目標管理(PDCA)
システムの徹底

自立性、機動性、
透明性を活かした
法人運営

信
財

地域に信頼され
続ける新病院へ

人
財

人への投資
(新病院に向けた種まき)
職員満足度の向上

質の向上

- * 救急・高度医療の提供
(より信頼される病院へ)
- * 多職種の連携(チーム医療)による
質の高い医療の提供
- * 患者サービスの向上

金
財

経営基盤の安定化 (持続的な病院経営、自律的な経営へ)

経常黒字6.8億円

経常黒字6.5億円

経常黒字3.4億円

24年度 (ホップ)

25年度 (ステップ)

26年度 (ジャンプ)

平成26年度 業務実績及び決算



平成26年度(独法3年目)の取組み方針

平成26年度の計画目標

病床利用率	88.8%
入院単価	55,000円
外来単価	17,500円
紹介率	64.0%
逆紹介率	60.0%
手術件数	4,000件



平成26年度の実績

病床利用率	89.1%
入院単価	59,769円
外来単価	18,599円
紹介率	66.3%
逆紹介率	73.0%
手術件数	4,144件

主要目標はすべてにおいて達成することができた

平成26年度の実績 ～安定した経営基盤の確立に向けて～

項目	26年度	25年度	差
入院延べ患者数 (人)	156,028	157,132	▲1,104
1日平均入院患者数 (人)	427.5	430.5	▲3.0
病床利用率(480床)(%)	89.1	89.7	▲0.6
新入院患者数 (人)	12,919	11,911	1,008
平均在院日数 (日)	11.1	12.2	▲0.9
入院単価 (円)	59,769	57,484	2,285
入院収益	93億2,563万円	90億3,260万円	2億9,303万円
手術件数 (件)	4,144	4,035	109
外来延べ患者数 (人)	190,049	188,426	1,623
1日平均外来患者数 (人)	778.9	772.2	6.7
外来単価 (円)	18,599	17,631	968
外来収益	35億34,68万円	33億2,217万円	2億1,251万円
紹介率 (%)	66.3	64.5	1.8
逆紹介率 (%)	73.0	56.5	16.5

平成26年度 業務実績

1-1. 市立病院として担うべき医療

■救急医療(重点項目)..... P7

≪救命救急センターの開設に向けた体制整備≫

断らない救急・重症患者の受入れ推進

☆救急搬送件数の増加

- ▶ 内科系、外科系共に増加 6,834件→8,055件
- ▶ 堺市管内で発生した約46,000件のうち約2割を受け入れ

☆病床管理センターの強化

- ▶ 満床が理由のお断りが減少 不応需(満床理由)19%→3%

☆集中治療室(ICU)の施設基準取得(平成26年8月～)

- ▶ より重症度の高い患者の受入が可能

☆ドクターカーの出動件数の増

- ▶ 出動件数 242件 → 269件

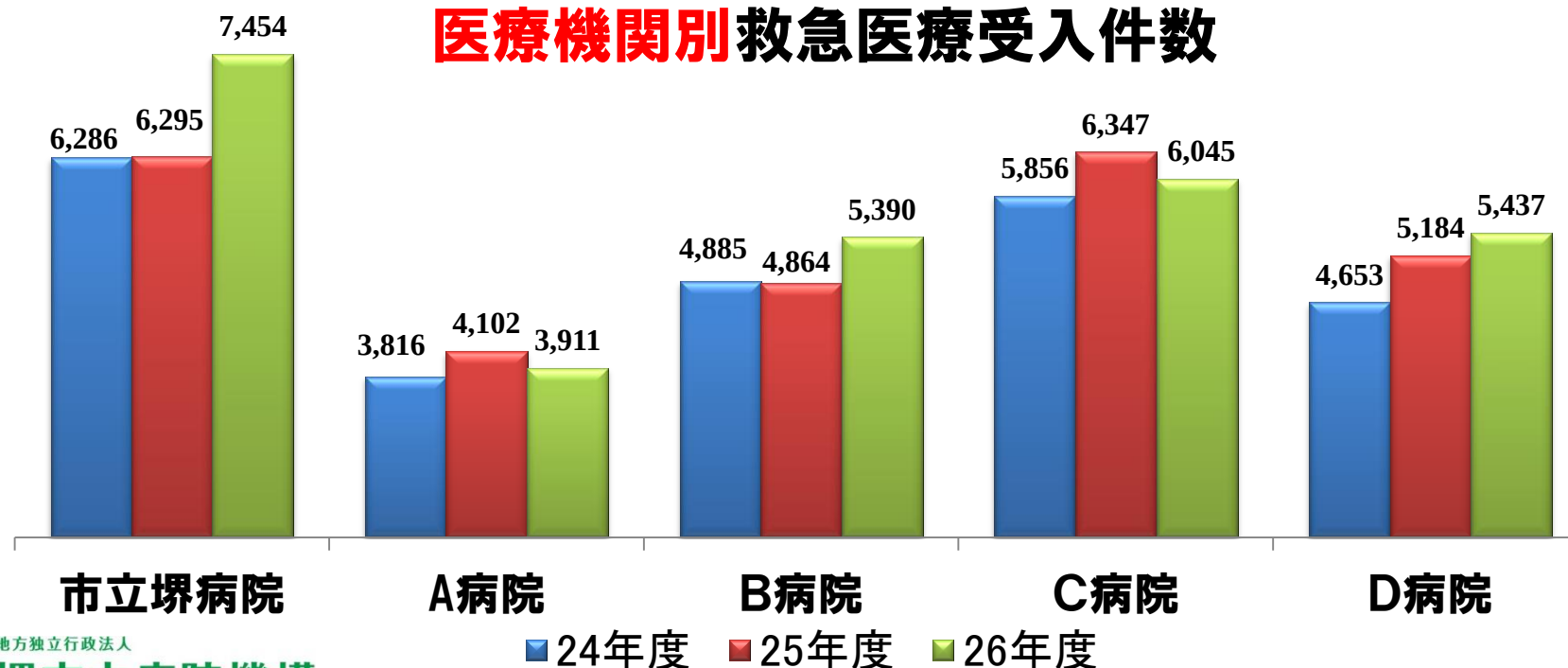
1-1. 市立病院として担うべき医療

■救急医療(重点項目)..... P7

堺市消防局からの搬送件数

	26年度	25年度	差
搬送件数	7,454	6,295	1,159

医療機関別救急医療受入件数



1-1. 市立病院として担うべき医療

■救急医療(重点項目) P7

入院状況から見た重症患者の受入れ増

救急搬送入院患者数 2,280件 → 2,753件(入院率33.4% → 34.2%)
ウォークイン件数 8,982件 → 9,074件(入院率17.3% → 18.5%)
緊急手術件数 488件 → 579件
ハートコール受け入れ 100件 → 115件
救急搬送応受率 65.0% → 78.4%

救急からICU・HCUへの**直接入院患者数**の増加
1, 258件⇒1, 268件

業務実績の自己評価

評価 **5**

1-1. 市立病院として担うべき医療

■小児医療・小児救急・周産期医療. P12

☆堺市消防局管内の小児救急受入 1,248件→1,335 (管内の約54%)

☆小児疾患センター設立に向けた多職種合同での会議を開催

▶ 新病院では小児専門疾患に対応できる「小児疾患センター」を設置

☆産婦人科診療相互援助システムの準基幹病院

市立堺病院 小児二次救急

☆産婦人科緊急医療体制の輪番病院

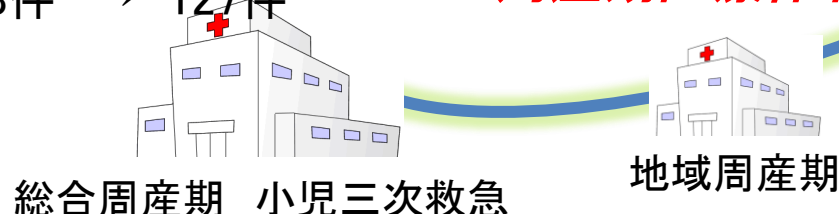
《総合病院としてのメリット》

・合併症妊娠の分娩に係る

ハイリスク分娩加算 135件 → 156件

ハイリスク妊娠加算 118件 → 127件

地域医療機関との連携・役割分担
周産期医療体制の確立



業務実績の自己評価

1-2. 高度専門医療の提供

■がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病への対応(重点項目). P19

①がん

☆多職種による総合的な治療の実施 (手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア等)

☆がん患者数の増加

▶ がん入院患者数3,987人 → 4,460人

▶ がん診療登録医件数246件 → 277件

☆がん相談の実施

▶ がん相談件数 2,277件 → 3,542件

☆がん予防活動や啓発

▶ がんに関する市民公開講座 4回→6回
延べ参加人数 74名 → 233名

☆当院のがん診療に対する取り組みが認められ8月6日に
国指定の「地域がん診療連携拠点病院」に承認された！！

☆がん患者サポート事業の開始
(オール堺での取り組み)

▶ がんを患っても安心して生活できる体制を構築する
ため当院の患者会と大阪労災、当院、堺市で医療
機関の垣根を越えた交流が可能

1-2. 高度専門医療の提供

②脳卒中

☆脳血管内治療の推進

堺市管内の脳外領域の救急搬送件数
377件⇒457件（80件増加）

④糖尿病

☆積極的な糖尿病指導

糖尿病指導外来件数 95件→115件
在宅自己注指導件数 3,234件→3,471件

③急性心筋梗塞

☆24時間365日のハートコール受け入れ体制

▶ 100件 → 115件

☆心大血管疾患リハビリテーションチームの活動

▶ 心臓リハビリ人数
8,030人 → 13,080人

☆チーム医療の推進

- ・ 心大血管疾患リハビリテーションチーム、周術期管理チームの発足
- ・ 口腔ケアチームによる周術期の口腔ケアの実施

▶ 周術期口腔ケア実施率(全麻)45.4% → 65.3%

業務実績の自己評価

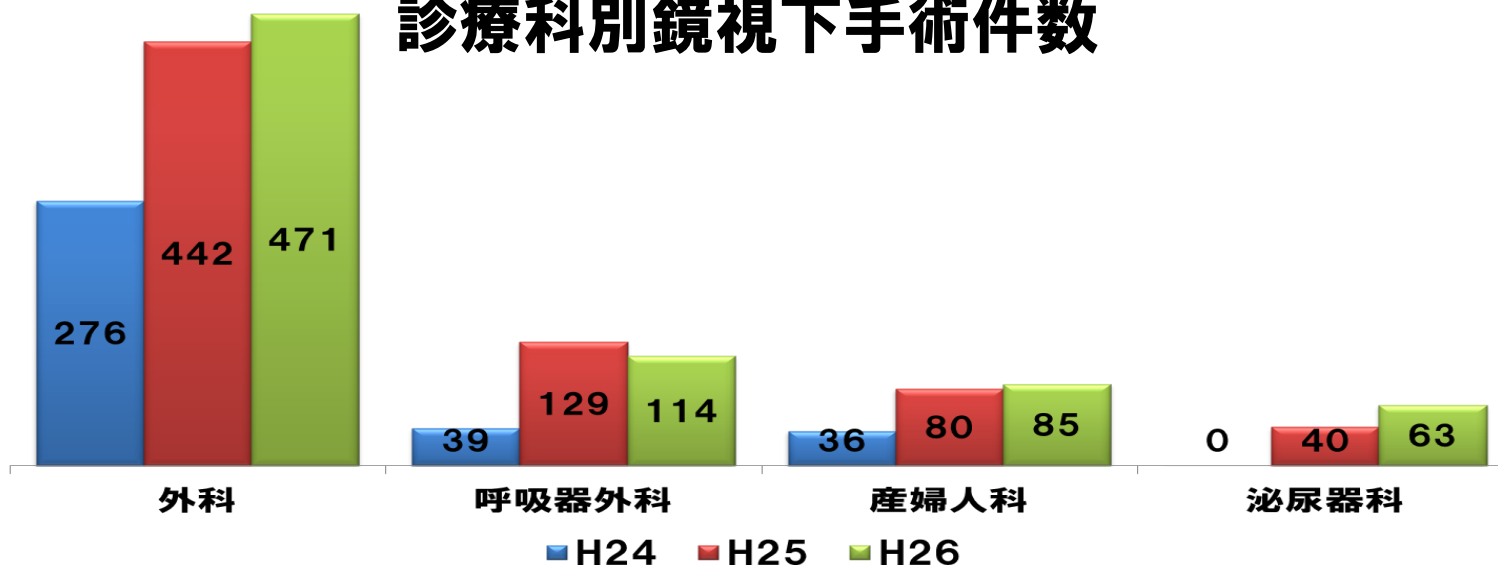
評価 **5**

1-2. 高度専門医療の提供

■高度で専門性の高い医療の提供. P27

- ・全身麻酔件数(手術)の増加(1,944件 → 2,134件)
- ・患者の体に負担の少ない低侵襲な手術を推進した結果
鏡視下手術件数 691件 → 733件に増加した

診療科別鏡視下手術件数



業務実績の自己評価

評価 **5**

1-5. 地域医療への貢献

■地域医療機関との連携推進..... P53

地域連携の目的

より多くの患者に対して**高度で専門的な医療**を提供すること

⇒ 地域医療機関との**適切な役割分担**のもと、**連携**を推進

地域医療機関との連携強化に係る取組み

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向け「地域医療連携の会」を定期的開催
- ・ 訪問看護ステーションとの交流会の開催
- ・ 夜間帯MRI予約検査の開始
- ・ 当院の診療状況や機能を紹介する情報誌「地域連携ニュース」の発行

地域の人材育成

「臨床教育支援センター」の
立ち上げ

初期研修医の1位希望

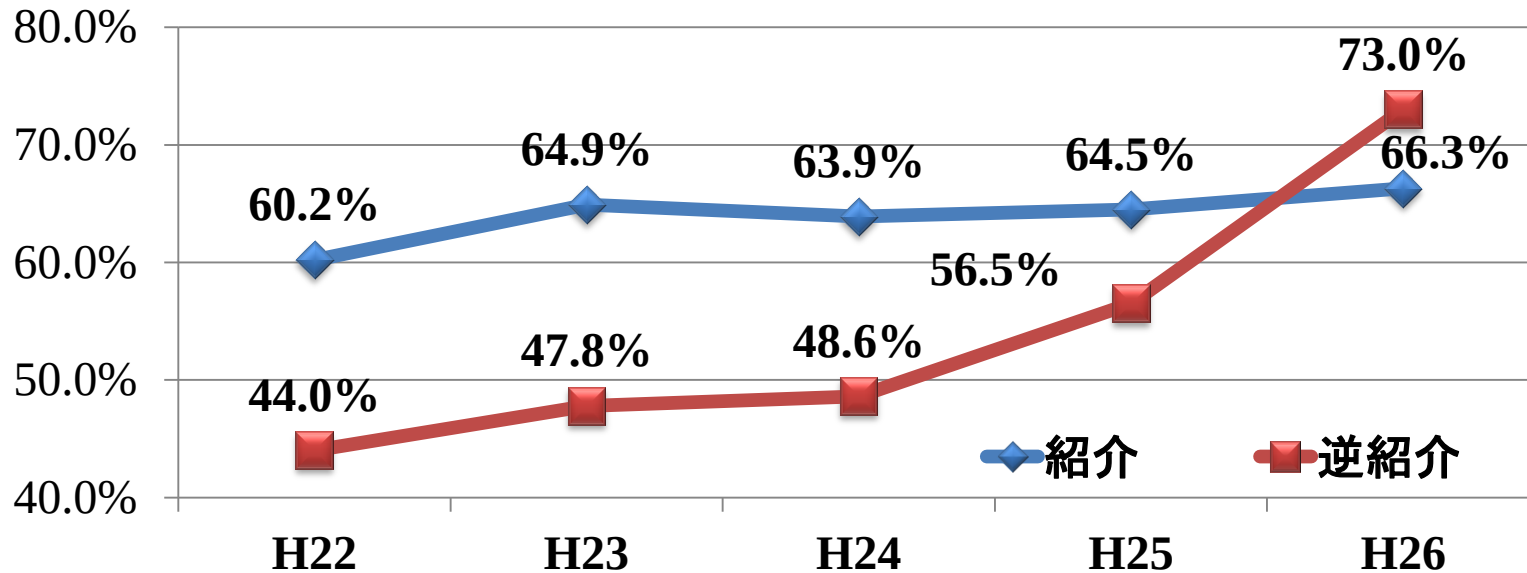
11名→15名

病病連携・病診連携
の推進

★副院長をはじめとする各診療科
部長と医療機関の訪問活動
9件→37件

1-5. 地域医療への貢献

■地域医療機関との連携推進



○紹介率66.3%(+1.8%)逆紹介率73.0%(+16.5%)と増加している

○逆紹介は増加しても外来患者は増加しているので、病診連携も図れている

○26年度は逆紹介率が紹介率を上回った

業務実績の自己評価

評価 **5**

2-1. 業務運営体制の構築

部門体制の強化

事務部門の強化

- ☆市派遣職員から法人職員への切り替え
- ☆職務経験者の採用

外部評価の活用

- ☆監事監査、会計監査人による監査
内部監査、出資団体監査の受審
→ 指摘事項は速やかに対応

質の高い経営

- ☆中長期ビジョンの策定
- ☆他院とのベンチマーク分析の実施
- ☆職員提案制度

効率的・効果的な 業務運営体制

..... P67 人員体制の強化

教育研修の充実

- ☆4局予算を活用した専門資格の維持
や取得、学会発表、研修会の受講
- ☆海外派遣研修を活用し、医師2名を
海外研修に派遣

職員満足度の向上

- ☆「臨床教育支援センター」の立ち上げ
- ☆成果や実績に合った手当に厚みをつける
「人事給与制度」の見直しの検討
- ☆院内保育所「ぞうさん」の運用変更

業務実績の自己評価

評価 **4**

3-1 経常収支の黒字の達成

《コンスタントな収益の確保》(重点項目) P98

収入の確保

☆重症患者や手術件数の増加

- ▶ 診療単価(入院) 57,484円/日 → 59,769円/日
- ▶ 診療単価(外来) 17,631円/日 → 18,599円/日

☆業務状況等のデータ分析

- ▶ 約10.5億円/月の診療収入確保 → 年128.6億円

☆施設基準の取得

- ▶ ICU (集中治療室管理料) がんりハ 等

費用の節減

☆後発医薬品の採用拡大

- ▶ 採用率 34.4% → 35.5%

☆診療材料、医薬品の値引き交渉

☆事務用品の共同購入

- ▶ コピー用紙、トナー 等

☆増税前の事前購入

経常損益約3.4億円の黒字達成

業務実績の自己評価

評価 **5**

4-3新病院整備の推進

平成27年7月開院に向けた取り組み

・・・・・・・・・・・・・・・・P117

☆新病院建設工事

- ▶ 工法変更により工期を3ヵ月短縮。建設工事と同時進行で医療機器の搬入

☆安全でスムーズな移転

- ▶ 早期に患者搬送や物品搬送についてのスケジュールの作成や移転に関する説明会を開催

☆近隣の医療機関との調整

- ▶ 移転に伴い想定される課題やリスクをリスト化し計画的な対応を実施

☆救急医療ネットワークの構築

- ▶ 新病院に併設される救急ワークステーションについての業務内容や運用方法について協議し、病院前医療体制の強化に向け協議を開催

☆西区での連携病院の開拓

業務実績の自己評価

評価

4

○平成26年度 業務実績小項目 自己評価

大項目	小項目	平成25年度				
		5	4	3	2	1
市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	23	1	9	13	-	-
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	15	0	10	5	-	-
財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	3	1	2	0	-	-
その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置	9	0	1	8	-	-
合計	50	2	22	26	-	-

小項目	平成26年度(自己評価)				
	5	4	3	2	1
23	5	9	9	-	-
15	1	11	3	-	-
3	2	1	0	-	-
9	0	5	4	-	-
50	8	26	16	-	-

5 年度計画を大幅に上回って実施している。

4 年度計画を上回って実施している。

3 年度計画を順調に実施している。

平成26年度 決算

平成26年度決算見込みは

人員の増に伴う給与費の増があったものの

月あたり10.7億円を超える診療収入で

経常損益が 約3.4億円の 黒字

3か年累計で約16.7億円の黒字

となる見込み

貸借対照表

資産の部	
I 固定資産	160.6億円
土地建物等	31.1億円
器械備品等	18.2億円
建設仮勘定(新病院用)	110.9億円
その他	0.4億円
II 流動資産	116.0億円
現金・預金	91.2億円
未収金	23.4億円
材料	0.9億円
その他	0.5億円
資産合計	276.6億円

負債の部	
I 固定負債	77.3億円
長期債務	43.5億円
退職給与引当金	26.1億円
その他	7.7億円
II 流動負債	184.3億円
短期債務	111.9億円
未払金	64.9億円
賞与引当金	3.9億円
その他	3.6億円
純資産の部	
I 資本金	3.0億円
II 利益剰余金	12.0億円
負債・純資産合計	276.6億円

損益計算書

営業収益	147.1億円
医業収益	131.6億円
運営費負担金・補助金等	15.5億円
営業費用	139.4億円
給与費	76.0億円
材料費	33.5億円
経費	22.9億円
減価償却費	6.3億円
研究研修費	0.7億円
営業利益	7.7億円
営業外収益（運営費負担金・利息等）	4.7億円
営業外費用（借入利息等）	9.0億円
経常利益	3.4億円
臨時損失（減損損失等）	1.2億円
当期純利益	2.2億円

キャッシュ・フロー計算書

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	A	1,026,221,598円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	B	▲544,102,821円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	C	▲600,309,059円
IV 資金減少額	$A + B + C = D$	▲118,190,282円
V 資金期首残高	E	236,049,551円
VI 資金期末残高	$D + E$	117,859,269円

I 業務活動は、病院運営に伴う現金の動き

II 投資活動は、固定資産の取得や売却、資産運用などに伴う現金の動き

III 財務活動は、借入金の借入、返済などに伴う現金の動き

キャッシュフロー計算書は、現金と普通預金の動きを示している。

定期預金や譲渡性預金などの動きは、II の投資活動で示される。

摘 要	平成26年3月31日 A	平成27年3月31日 B	増 ▲ 減 B - A
現金・普通預金	236,049,551	117,859,269	▲118,190,282
うち3か月以上1年以内預金	9,000,000,000	9,000,000,000	0
有価証券(譲渡性預金)	1,700,000,000	0	▲1,700,000,000
現金・預金総合計	10,936,049,551	9,117,859,269	▲1,818,190,282

I 業務費用	1,660,025,562円
(1) 損益計算上の費用	14,963,667,375円
医業費用	13,607,781,837円
一般管理費	331,694,053円
営業外費用	901,750,943円
臨時損失	122,440,542円
(2) (控除) 自己収入等	▲13,303,641,813円
医業収益	▲13,158,692,331円
その他営業収益	▲44,000円
営業外収益	▲143,617,056円
臨時利益	▲1,288,426円
(うち減価償却充当補助金相当額)	(104,088,119円)
II 機会費用	1,208,297円
地方公共団体出資の機会費用	1,208,297円
III 行政サービス実施コスト	1,661,233,859円

行政サービス実施コスト **1,661,233,859円**／堺市推計人口840,059人

人口1人当たり **1,978円**／年(H25 **1,409円**／年・対前年度**569円**)